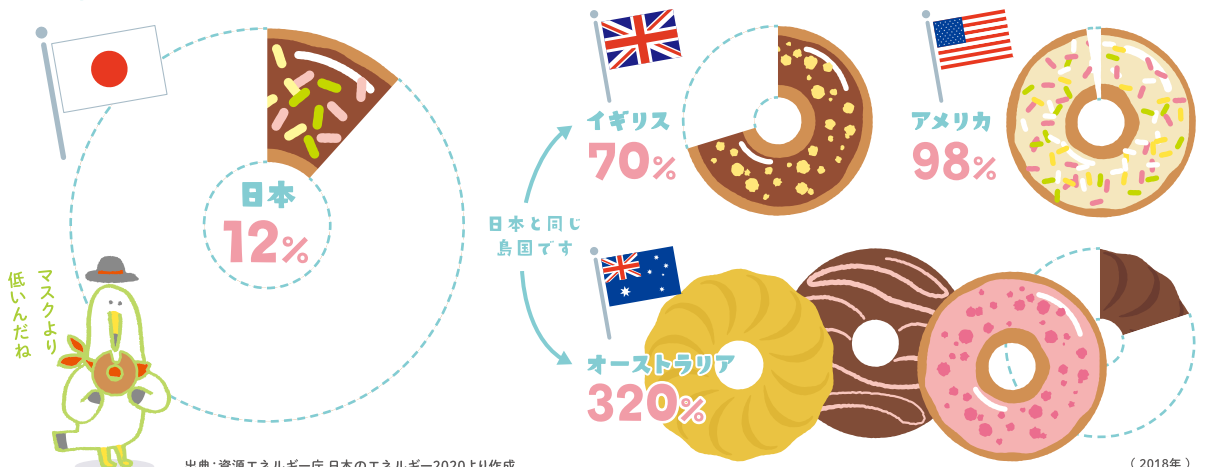


自給率
といえは **日本のエネルギー自給率は低く、わずか約12%!**



日本はエネルギー資源のほとんどを海外から輸入しています。

- つまり...
- 海外からの輸入が難しくなると、電気が足りなくなることに。
 - 石油などの化石燃料には限りがあり、エネルギー資源の取り合いになれば高額になることも。

輸入が難しくなると...

電気が足りない!?

電気代がとて高額に!?

不安しか感じないかも

かもしらうの発見!

自分のぶんは自分でつくれるように
なりたいたいかも

こうならないために

エネルギー自給率を上げよう!

その方法?

- エネルギーを大切に使う(省エネ)
- 国産で無限にある太陽光・風力などの再生可能エネルギーを増やしていく
- 少ない資源でたくさん発電でき、資源のリサイクルができる原子力発電を活用していく

などの方法が考えられます。

どうして自給率が大事ななの?

～マスクから学ぶエネルギー問題～

昨年のいまごろは、どこに行ってもマスクが手に入りませんでしたね。
その原因は「自給率」が低いから。
エネルギーの問題でもよく「自給率」が大切と聞きますが、どういう意味なのかみてみましょう。

昨年のいまごろは...

マスクが足りない!
どこにも売ってない!

マスクがなくても高額に!

あたりまえにマスクが手に入る今はすばらしい世界かも

どうしてこんなことが起こったの?



そういうことだったのか

その結果...

- 自給率が低かったところに、海外からの輸入が途絶えて品切れに。
- 世界中でマスクの取り合いになり、手に入っても驚くほど高額に。

これを自給率20%といえます

日本で作れるマスクは10人のうち2人分だけ。

国産マスク
日本のマスク自給率
輸入マスク

出典：一般社団法人日本衛生材料工業連合会資料を基に作成